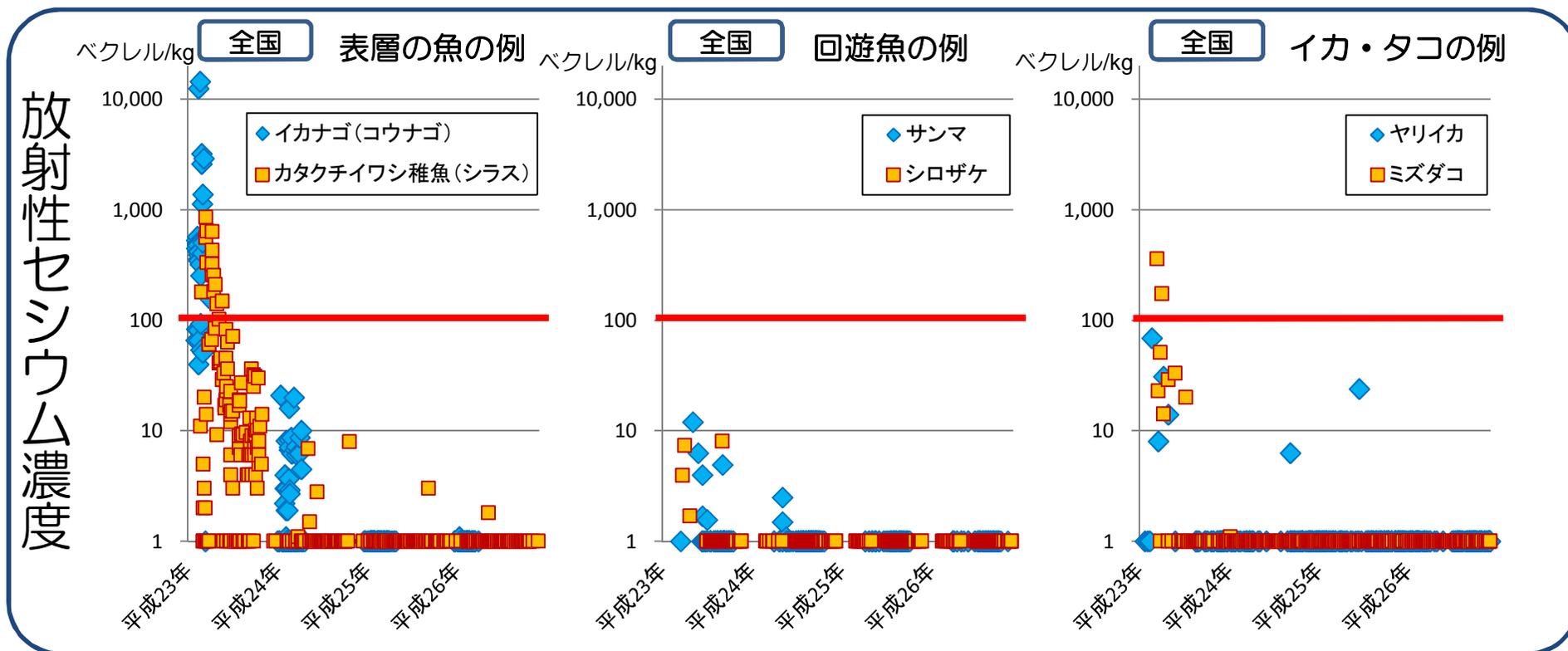


魚種ごとの傾向（全国）①

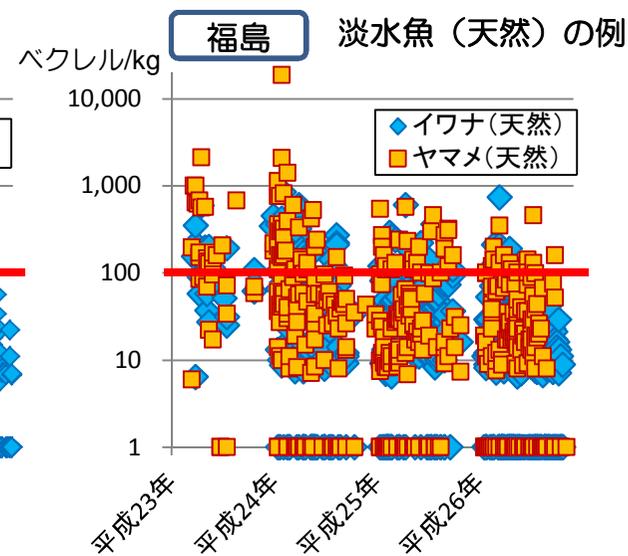
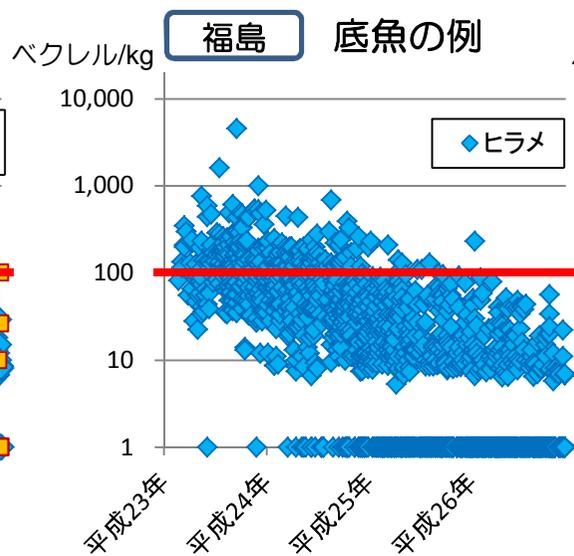
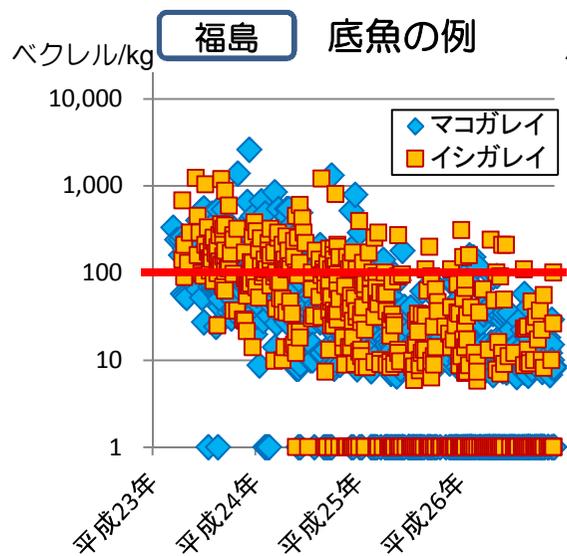
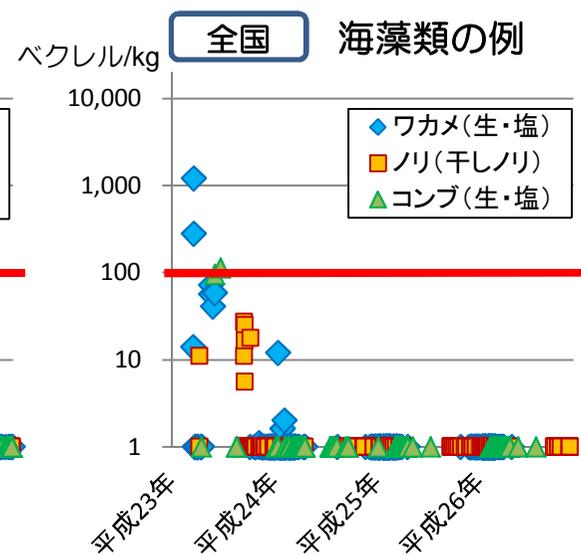
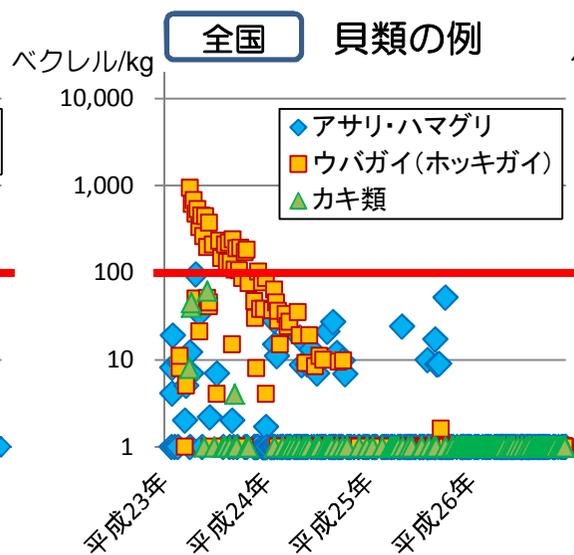
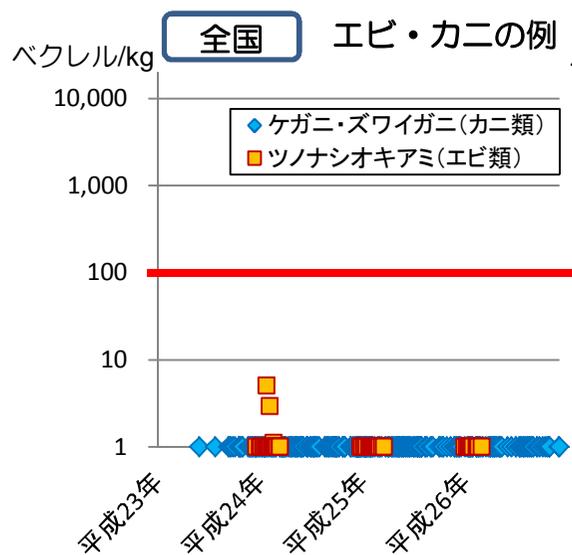
- シラス等の表層魚：時間の経過とともに基準値を下回る
- 回遊魚、イカ・タコ、エビ・カニ、海藻類：基準値を下回る
- カレイ等の底魚：現在でも基準値を上回る魚種が存在する
→ 生息域の環境や食性等が品目毎の傾向に関係



(注) 平成23年3月24日～平成27年1月31日までの検査結果を水産庁にて集計。

魚種別の放射性セシウム濃度の傾向 (2/2)

放射性セシウム濃度



(注) 平成23年3月24日～平成27年1月31日までの検査結果を水産庁にて集計。

農林水産省「農林水産現場における対応」より作成

チェルノブイリの話
もあるし、牛乳は
こわいです



畜産物の放射性物質検査

① 牛肉

5県（岩手県、宮城県、福島県、栃木県、群馬県）では、3か月に1度、全戸検査を実施。

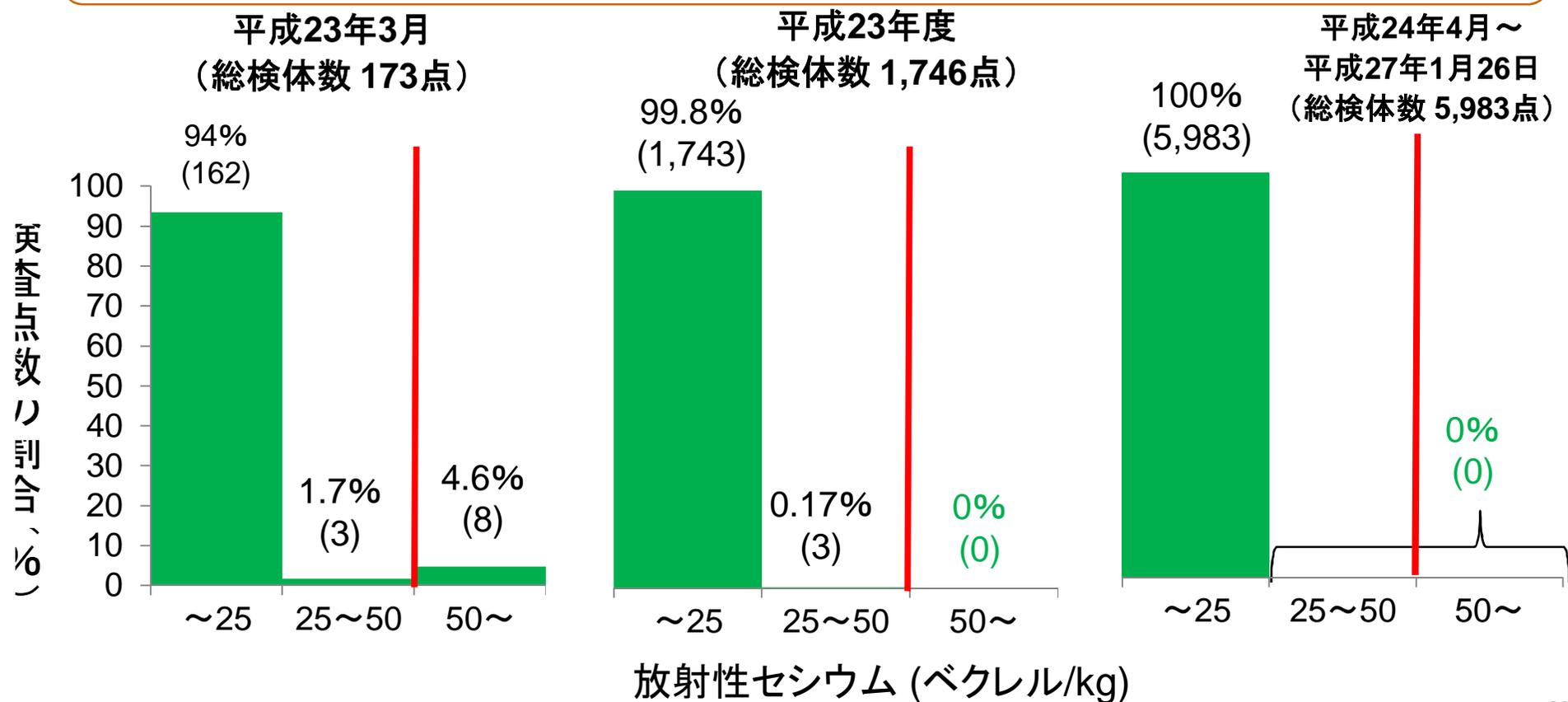
特に、このうち4県（岩手県、宮城県、福島県、栃木県）については、一部の農家について出荷に当たり全頭検査を実施

② 乳

5県（岩手県、宮城県、福島県、栃木県、群馬県）では、2週間に1度、検査

原乳の検査結果（～平成27年1月26日）

- 福島第一原発事故当初には50ベクレル/kgを超過した原乳がみられた
- 平成23年度以降基準値超過なし



(注)・平成27年1月26日までに厚生労働省が公表したデータに基づく。()内は検査点数。
 ・検出下限値未満は25ベクレル/kg以下として集計。

農林水産省「農林水産現場における対応」より作成

平成23年4月以降、
基準値以上の牛乳の汚染
はみられていません

そもそも、、、
チェルノブイリの甲状腺がんの原因は
放射性ヨウ素で、ヨウ素131は半減期
が短いため既に存在していません

